

TOPに聞く

シマダ株式会社 / 山口支部

# 人に自然に優しい地域づくりを目指して



県中部に位置する山口市。人口14万人のこのまちで、「ものをつくる」という建設から一歩進み、「生活づくりの提案」に取り組んでいる建設会社があります。今回は、シマダ株式会社 代表取締役社長 嶋田日出夫さんに通常道路管理のことなども含めたお話を伺いました。

## シマダ株式会社 会社概要

創業 昭和2年5月  
設立 昭和28年10月  
資本金 50,000万円  
代表者 代表取締役社長 嶋田 日出夫  
従業員 148名 2004年12月1日現在  
営業内容 建設業、旅館業、不動産業  
本社 〒753 0057  
山口市前町2番1号  
TEL083 922 2083

嶋田 日出夫  
SHIMADA HIDEO  
シマダ株式会社 代表取締役社長



平成16年は日本における史上最多の台風が上陸し、県内にも様々な被害をもたらしました。「特に18号の時は風が強かったために倒木が多く、処理作業に追われました」インターネットなどで台風の状況を随時確認し、地域の被害に素早く対応できるように備えています。また同社では通常でも、24時間の緊急連絡体制を敷き、災害や突発的な事故に備えて、地域や道路の維持管理に努めています。

### 建設という仕事の領域を広げる

シマダ株式会社は、昭和2年創業です。以来、山口市を中心に土木・建築分野を主として手掛けてきました。その中でも現在は、住宅部門の健康な住まい方の提案に重点をおいています。「これからの建設業のあり方、自社の役割を見つめ直した時に、もっと地域に密着した企業でありたい、より快適な生活空間を提供していきたいと考えています」と嶋田社長。「住む方の健康や安全性にこだわった住まいづくりから、それを取り囲む環境への配慮まで、建設という仕事の領域を広げて

人や動植物、全てが気持ちよく生活できる空間の創造、提供へ向けて取り組みを始めました」

同社では、建築や土木といった業務の他に「君津方式」といわれる技術での地質汚染調査・浄化や水質浄化装置の研究開発、余剰生コンクリートの再利用など、環境汚染やエネルギー問題といった地球環境へ積極的にアプローチを行っているそうです。

また、他分野で手掛けられている、日置町の宿泊施設「へき温泉 YUIの家」の運営については、「はじめは宿泊施設のサービス提供と、自分たちの建設という仕事とは結びつかないのではと思っていました。しかし豊かな生活創造を原点に、人に求められるものを考えれば、それらは同じ方向にある。2004年1月のリニューアルにあたっては、オーガニック食材を使った料理の提供や、豊を無農薬の自然素材を使ったものにするなど、訪れる方に本物の安全・安心を感じて頂けるような空間づくりを心掛けました」とのこと。時代のニーズを捉えた、人と自然



『へき温泉 YUIの家』

の共生を進めています。地域の一員として、住みやすいまちづくりを行っていききたい」

これからの建設業は、生活づくり・地域づくりに即し、地域の声をしっかりと反映させていくことが、大切であると嶋田社長は言われます。「例えば道路工事においては、渋滞の緩和、危険箇所の改善以外にも、地域住民の声を聞き、より暮らしやすい道を整備する。もちろん一個人の工コであったはいけません、実際にそこで暮らす方々の「本場に必要なもの」を考え、地域の声に直結した対応が求められる時期である、と思います。これが実現していくことで、住民の方々と共に私達自身も自分たちで町をつくっていくという、より楽しく発展的な気持ちが生まれていくのではないのでしょうか。我が社では、建設の仕事は請負業のみではなく、衣食住を含めた生活提案であるという理念を持ち、仕事をしていきます。業者としての立場だけではなく、自分たちも地域の一員として地域の方々とともに考え、社会、生活、環境、文化ともに充実したまちづくりを目指していきます」

### 地域全体が 発展していくために

「合併によって、長門市内の建設業者数は約40社余りとなり、仕事の量から考えても飽和状態になります。また現在は仕事の受注形態も変わりつつあり、1つの仕事の中でも、専門分野に特化した別々の業者に頼む分離発注が増えています。しかし、地元には専門業者が少なく、どうしても仕事が地元以外の業者に流れてしまふ。これは地域の発展には繋がりません。今後は地元企業が自社の能力を高め、地域の中で協力し合いながら、建設業を盛り上げていく努力が必要だと考えます」

「あくまで本社は建設業、他分野に手を広げていることで、その地盤が揺るがないように、常に気持ちを引き締めることを心掛けています」

「二十数年、長門地域ではそれほど大きな災害は起こっていません。この地域は気候が比較的穏やかで、河川も短いですし、地滑りの危険性が高い向津半島などの地区は、何十年前から補強が施されているために、全体的に防災対策がほぼ整っているからでしょう。今年の台風でも目立った被害は、なく幸いでした」と安藤社長。

しかし、地震や台風がひっきりなしに訪れる島国日本では、いつ何が起るか分かりません。そのことを常に頭におき、日常においても山の斜面や道路の状態を気にしておられるそうです。



## 安藤建設株式会社 会社概要

創業 昭和2年5月  
設立 昭和44年5月  
資本金 2,000万円  
代表者 代表取締役社長 安藤光吉  
従業員 67名  
営業内容 建設業、養殖業  
本社 〒759 4101  
長門市東深川1967番地の2  
TEL0837 22 4067

安藤 光吉  
ANDO MITUYOSHI  
安藤建設株式会社 代表取締役社長

山口県長門市。穏やかな空気に包まれたこの地域にも、平成17年3月市町村合併という大きな節目が訪れようとしています。建設業の新分野進出や市町村合併といった新しい時代の波にどう対応していくのか。70年間この地を見つめてきた安藤建設株式会社 代表取締役社長 安藤光吉さんにお話を伺いました。

### 山陰の穏やかな 気候に守られて

山陰の豊かな自然に囲まれた長門地域。安藤建設株式会社は、昭和44年に三隅町で創業し、70年以上この地域を見守ってきました。現在は長門市に本社を移して、土木、建設、造園など多岐に渡り充実した仕事をしています。

「二十数年、長門地域ではそれほど大きな災害は起こっていません。この地域は気候が比較的穏やかで、河川も短いですし、地滑りの危険性が高い向津半島などの地区は、何十年前から補強が施されているために、全体的に防災対策がほぼ整っているからでしょう。今年の台風でも目立った被害は、なく幸いでした」と安藤社長。

しかし、地震や台風がひっきりなしに訪れる島国日本では、いつ何が起るか分かりません。そのことを常に頭におき、日常においても山の斜面や道路の状態を気にしておられるそうです。

TOPに聞く

安藤建設株式会社 / 長門支部

# 大きな節目を期に、さらなる地域の発展を



安藤 光吉  
ANDO MITUYOSHI  
安藤建設株式会社 代表取締役社長

山口県長門市。穏やかな空気に包まれたこの地域にも、平成17年3月市町村合併という大きな節目が訪れようとしています。建設業の新分野進出や市町村合併といった新しい時代の波にどう対応していくのか。70年間この地を見つめてきた安藤建設株式会社 代表取締役社長 安藤光吉さんにお話を伺いました。

## 安藤建設株式会社 会社概要

創業 昭和2年5月  
設立 昭和44年5月  
資本金 2,000万円  
代表者 代表取締役社長 安藤光吉  
従業員 67名  
営業内容 建設業、養殖業  
本社 〒759 4101  
長門市東深川1967番地の2  
TEL0837 22 4067

安藤 光吉  
ANDO MITUYOSHI  
安藤建設株式会社 代表取締役社長

山口県長門市。穏やかな空気に包まれたこの地域にも、平成17年3月市町村合併という大きな節目が訪れようとしています。建設業の新分野進出や市町村合併といった新しい時代の波にどう対応していくのか。70年間この地を見つめてきた安藤建設株式会社 代表取締役社長 安藤光吉さんにお話を伺いました。

### 山陰の穏やかな 気候に守られて

山陰の豊かな自然に囲まれた長門地域。安藤建設株式会社は、昭和44年に三隅町で創業し、70年以上この地域を見守ってきました。現在は長門市に本社を移して、土木、建設、造園など多岐に渡り充実した仕事をしています。

「二十数年、長門地域ではそれほど大きな災害は起こっていません。この地域は気候が比較的穏やかで、河川も短いですし、地滑りの危険性が高い向津半島などの地区は、何十年前から補強が施されているために、全体的に防災対策がほぼ整っているからでしょう。今年の台風でも目立った被害は、なく幸いでした」と安藤社長。

しかし、地震や台風がひっきりなしに訪れる島国日本では、いつ何が起るか分かりません。そのことを常に頭におき、日常においても山の斜面や道路の状態を気にしておられるそうです。